



ふうの木のある学校から

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 5月号 文責 校長

授業参観・懇談・総会への参加、 ありがとうございました。

4月21日(日)の参観日、たくさんの保護者の皆さんに学校へ足を運んでいただきありがとうございました。

足元の悪い中でしたが、皆さんの子ども達を見る「まなざし」や、授業を見つめる真剣な表情に新年度になった学校や職員への期待を感じました。

教育は、「試行錯誤」の毎日です。うまくいく日があったり、そうでない日があったりを繰り返しながら、子どもも大人も成長していくものと考えています。

今後とも、本校への応援、前向きなご指摘をよろしく願いたします。

家庭訪問へのご協力、 ありがとうございました。

4月16日(火)から4月26日(金)にかけて、家庭訪問を実施しました。

年度当初のご多用の中、訪問のために時間をとっていただきありがとうございました。

ご家庭の確認や保護者の方との顔の見える関係づくりのために、実施しましたがいかがだったでしょうか？

中には、予定した時間に職員が遅れた、職員が期日を勘違いし、待っていたのに訪問されなかった等、御迷惑をおかけした部分も報告されています。大変申し訳ありませんでした。

年度当初の家庭訪問の実施については、見直し、改善を検討していく必要があると考えているところです。

けが・事故のない大型連休を

「ゴールデンウィーク」といった方が、子ども達にも伝わりやすいかもしれません。

4月27日(土)・28(日)・29(月)の3連休、5月3日(金)～6日(月)の4連休。

年度当初の慌ただしさや疲れを癒すには、よい期間かと思われれます。

注意したいことのひとつに、けがや事故です。学校でも、交通事故、水の事故には十分気を付けるよう指導しています。

毎年のように、水の事故や交通事故が日本各地で起こり、報道を見るたびに心を痛めます。

くれぐれも、ご留意いただきたいと思ひます。

もうひとつ、気を付けておきたいのが、「生活リズム」の乱れです。

つつい夜ふかし、つつい朝ねぼう……。登校する時刻になっても起きられない。お家の人と離れるのが嫌になってしまう。といったことも起こりがちです。登校時刻を意識した生活リズムで過ごしてください

5年後、10年後を想像して

子ども達への教育は「未来への投資」と言われるように、少子化による将来の働き手の不足、AIの発達による職業のデジタル化への対応等、様々な課題を抱えています。

4月24日(水)には、県内外の企業の方々から来て、4年生を相手に仕事の楽しさや大変さをお話していただきました。

また、4月25日(木)には、町内の小中学校に加え、高鍋高校、高鍋農業高校の先生方と、これからの高鍋の教育について、学校間の連携・児童生徒との交流の在り方を話し合いました。

大谷翔平選手のように、夢をそのまま叶えることができる人もいるかもしれないし、いろいろな仕事を経験してみて、自分に合った職業に出会う人がいるかもしれません。

学習や趣味・少年団活動等で頑張っている今も大切ですが、5年後・10年後どうなっているかを想像しながら話し合う機会も大事にしていきたいですね。